

2021 年度 事業報告

NPO 法人犬山あんきにくらそう会

1. はじめに

今年「犬山あんきにくらそう会」は 1999 年に設立して 23 年目となり、第 25 回通常総会を開催する運びとなりました。「今井あんきの家」が新しい施設に移転をして初めての総会となります。

NPO は、困っている人に手を差し伸べることを理念としています。NPO 活動分野の 保健、医療、福祉の分野と子どもの健全育成の分野で活動することを目的に出発し、2000(平成 12)年 4 月に開始した介護保険法の指定事業者になることによって、「介護の社会化を地域で実現すること」をめざし、22 年間活動してきました。今井の旧施設で培った介護力を、新しいところでも引き継いでいけるよう努力していきます。

会員の皆さんの協力を得て 2016 年に認定 NPO を取得し、昨年は 5 年ごとの更新審査を受け無事に継続することができました。次の有効期間は令和 8 (2026)年 6 月までです。認定 NPO 維持のためには 100 名以上の会員維持が必要です。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスについては今井あんきの家では、この 10 月末にグループホーム東棟にてクラスターが発生してしまいました。ガウンと手袋、帽子を着用し、ビニールシートで感染区域を区切りクラスターにならないように努力しましたが残念ながらほぼ全員に感染が広がる結果となりました。11 月 8 日時点では終息に向かい利用者様も元気に過ごされています。現在は、グループホームの西棟と、小規模多機能型居宅介護の宅老所に感染が広がらないように努力しています。全国ではクラスター発生による業績不振により、閉鎖する介護事業所(主に訪問介護とデイサービス)の件数が高い水準となっており、次いで設備投資過大による倒産も目立ってきています。「今井あんきの家」も他人ごとではなく、引き締めて運営していきたいです。

第 24 回の総会でも経過を報告しましたが、「今井あんきの家」の施設は新築移転を無事に完了することができました。場所は名鉄富岡前駅の近くで駅から徒歩 3 分ほどの場所です。建物の引き渡しは 2022 年 3 月 15 日に行われ、県の補助金の条件である令和 4 年度内に完了することができました。5 月に旧施設からの引越しを行い、2022 年 6 月 1 日から新しい施設での運営を開始しています。

工事詳細については別紙でお伝えしますが、工事の総額は 3 億 2 千万円強の費用がかかりました。資金につきましては、愛知県からの犬山市介護施設等整備事業費補助金が約 8,900 万円余で、三菱 UFJ 銀行からの融資が 1 億 5,000

万円となっています。(2022年5月から年利0.76%、返済期間20年(10年固定)で返済していくこととなります。)会員の皆様からは、借入金総額3,390万円、寄付金(建設のため)が555万7千円と大変多くのご協力をいただきました。本当にありがとうございます。法人の自己資金は4千万円強の支出となっています。

グループホーム(認知症対応型共同生活介護)は旧施設では1セクション(9名定員)で運営していましたが、新施設では2セクション(18名定員)へ増室となっており、6月開所時から満室となっています。宅老所(小規模多機能型居宅介護)の定員は変更なく移転となり、旧施設を利用されていた9名がグループホームに入所されたため、定員29名を大きく割って14人でのスタートでした。現在(9月末時点)は20名の契約となっています。訪問看護ステーションの事務所も同時に移転しており、法人全体で看護師は常勤5名、パート5名(内准看護師2名)で運営しています。昨今は犬山市でも訪問看護ステーションが以前は3か所でしたが10か所にまで増え、病院付属の訪問看護も加えるとさらに多くなっています。そのため「今井あんきの家訪問看護ステーション」の利用者が激減しており、今後はますます厳しい経営を強いられます。しかしグループホームや宅老所にとっては、看護師が常駐しているという事がスタッフの安心感につながり、サービス向上にもつながっています。又、コロナのクラスター発生では、力を発揮しました。スタッフにとっても、利用者にとってもより良い施設をめざし運営していきたいと思えます。

2. 事業実施の概略

ア、本部事業について

(1) 会員

年度	'99年	'00年	'01年	'02年	'03年	'04年	'04年	'05年	'06年	'07年
正会員	69人	84人	77人	69人	84人	106人	92人	116人	111人	115人
賛助会員	39人	58人	45人	46人	48人	62人	69人	65人	57人	59人
利用会員					1人	4人	4人	9人	7人	0人
計	108人	142人	122人	115人	133人	172人	165人	190人	175人	174人

年度	'08年	'09年	'10年	'11年	'12年	'13年	'14年	'15年	'16年	'17年
正会員	129人	138人	135人	129人	73人	56人	53人	51人	50人	52人
賛助会員	55人	53人	49人	49人	106人	125人	126人	116人	130人	134人
利用会員	0人	0人	0人	1人	2人	1人	2人	5人	2人	0人
計	184人	191人	184人	179人	181人	182人	181人	172人	182人	186人

年度	'18年	'19年	'20年	'21年						
正会員	50人	50人	53人	50人						
賛助会員	136人	142人	134人	155人						
利用会員	0人	0人	0人	0人						
計	186人	192人	187人	205人						

認定NPOを維持する為には、賛助会員を含め 3,000 円以上の寄付口数が年平均 100 人以上必要ですが、今年度は 146 人でした。

2021 年度の新規会員は 31 人、退会は 13 人でした。寄付者は 26 人でした。

(2) 広報活動

① 「あんきだより」は 5 回発行しました。

第 97 号 2021 年 12 月発行
 第 24 回通常総会を終えて
 新築事業 経過報告
 第 24 回通常総会の様子

第 98 号 2022 年 3 月発行
 新しい「今井あんきの家」が完成しました
 新築「今井あんきの家」について
 貸付金・寄付金 ありがとうございます

内覧会特別号 2022 年 4 月発行
 「宅老所・グループホーム今井あんきの家」について
 「宅老所今井あんきの家」(小規模多機能型居宅介護)に
 ついて
 配食サービス
 訪問看護

第 99 号 2022 年 6 月発行
新しい施設で新生活スタートしました
第 25 回通常総会案内

第 100 号 2022 年 9 月発行
あんきだより 100 号記念
創刊号(1999.6.1)紹介
ホームページが新しくなりました

② ホームページ

ホームページが新しくなり、ご利用に関するご案内が見やすくなりました。トップページからブログやインスタグラムも簡単に閲覧できます。「あんきだより」も発行後にアップしています。

③ ブログ・インスタグラム

2011 年 11 月に開設したブログが、12 年目を迎えました。
「今井あんきの家」での日常を織り交ぜながら、老人介護について綴っています。“今井あんきの家 ブログ”で検索、若しくはホームページのトップページから見られるようになりました。「コメント」を開き記入欄に感想やご意見をお願いします。2019 年 4 月に開設したインスタグラムも 3 年半が経ち、今井あんきを家の日常をお伝えする事ができました。

④ グループホーム&宅老所「井戸端ごよみ」

あんきの家でのご利用者の様子を中心にスナップ写真とともに、2ヶ月に1度ご家族に届けました。季節ごとのイベントや施設内の様子などを伝えることができました。今後も施設の雰囲気や伝わるような季刊誌を作成していきます。

(3) ボランティア活動

新型コロナウイルス感染に伴い 2021 年から全てのボランティアの訪問は休止していました。ただ社会の感染状況に合わせ、犬山新婦人の皆様はボランティアに時々訪れて下さいました。庭の花を沢山抱えて来て下さる時は、ご利用者の活け花を手助けしていただいたり、歌や踊りの披露やご利用者の皆様と一緒に踊りを楽しんで下さる工夫をしていただきました。

活動が少なくなりがちでしたが、職員が体操やゲーム等で日々変化をもたせ楽しみながらのレクリエーションを続けています。

コロナ禍にあっても会員の方々や、今井あんきの家に関わって下さった方から古タオルや古布を届けていただき、ありがたく活用させていただきました。

(4) 見学者・研修生

看護学生は、看護学校 2 校の「老年看護学実習」の実習施設として提供しました。まず 1 月から 3 月迄、尾北医師会立の尾北看護専門学校 8 グループ 37 名の学生を、2 月から 10 月迄、愛北看護専門学校の 8 グループ 39 名を受入れました。9 時から 5 時の 1 週間ごとの実習でしたが、コロナ禍の中で一日を半日に変え、厳重な感染対策をとりながら学んでいただきました。

高齢者や認知症との関わりが少ない学生たちでしたが、真摯な学ぶ姿勢は利用者にも好印象を与え、私たちも改めて学ぶこともあります。

例年の今井みらい園の子供達の訪問や今井小学校の児童の福祉体験は、残念ですが今年も中止となりました。

イ、介護保険事業について

(1) 小規模多機能地域密着型サービス

① グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

グループホームとは、高齢者が認知症になり自宅で過ごすことが難しくなっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援する「地域密着型サービス」の一つです。

また、少人数での生活によって、同居している高齢者やスタッフと顔なじみになりやすく、利用者の不安感を防ぐことに繋がっています。さらに、日常の家事などを自分たちの力で行うことが、適度な刺激となり、認知症の進行を防ぐ効果があるとも言われています。

6 月から今井より塔野地に移転し、定員は 1 ユニット 9 名から 2 ユニット 18 名になりました。現在は 18 名・満床です。新しい環境での生活に、ご利用者さんも少しずつ慣れてきました。ただコロナ禍のため、ご家族との面会や地域との交流には制限を設けており、ご利用者さんやご家族さんにはとてご不便をおかけしています。

ご家族の希望があれば看取りまで対応しています。在宅往診(医療)や訪問看護(看護)と連携をとりながら、安心して過ごすことのできるグループホームを目指しています。

② 宅老所(小規模多機能型居宅介護)

高齢者の多くは「最後まで自宅で暮らしたい」と言います。「主人も死んだし子供も独立したし家に居るのは私一人。それでも自宅で暮らしたい」とよく耳にします。しかし実際最後まで自宅で暮らせる方は2割です。60年前は8割だったようです。様々な理由で入所施設に入られる方が多いのです。グループホームはそういう方々の為の入居施設です。今井あんきの家には、グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所があります。小規模多機能型居宅介護事業所を今井あんきの家では宅老所と呼んでいます(託ではなく宅です)。宅老所は「最後まで自宅で」のお手伝いをする施設です。本当の最期の最後までは無理でも、「通い・訪問・お泊り」の3つのサービスを組み合わせて「なるべく自宅で」をお手伝いします。

3つのサービスを同じスタッフから提供出来るのも宅老所の利点です。また訪問看護ステーションを併設しているので一定の医療対応も可能です。「最後まで自宅で」「なるべく自宅で」の為に日々頑張っています。

6月の移転後、今井の旧施設へ利用者様とピクニックへ行ったり、東屋^{あずま}で茶話会をしたりして楽しんでいます。まだ空きが沢山あります。是非会員の皆様にも広告のご協力をお願いします。

③ 共用型デイサービス(共用型認知症対応型通所介護)

共用型デイサービスはグループホームで行う「通所サービス」で少人数の家庭的な環境の中で、ひとり一人に合わせた柔軟な支援を提供します。(3名/日) また、グループホームと共用スペースを活用したサービスのため、介護保険の自己負担額が他のデイサービスの約半分で利用できます。将来の入所に備え、入所待ちの間に環境に馴染んでおくことができ、スムーズな入所にもつながります。ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり、利用者を受け入れることが難しくなっていますが、感染の心配がなくなり次第、営業したいと思います。

(2) 訪問看護ステーション

訪問看護は、グループホーム今井あんきの家が皆様の終の棲家となるべく、医療連携体制をとっております。新しい施設への移転に伴い2ユニットと増え、18名の皆さんの医療面でのサポートをさせていただくようになりました。医療処置が多く重症化していく利用者様ができるだけ穏やかにすごしていただけるように、介護スタッフのカンファレンスにも参加し介護・医療の連携が図れるようにしています。

小規模多機能の利用者様の心身の変化にも日頃から気を配り顔なじみになることで、必要時には訪問看護サービスがすぐに導入され在宅での生活が継続できるようお手伝いさせていただいています。

(3) あんき事業

今井あんきの家は介護保険事業以外に自主事業として、配食サービス、お出かけ同行サービス、今井の旧施設の活用などを行っています。

配食サービスとお出かけ同行サービスはNPO会員様限定のサービスとなります。配食サービスはお弁当を昼食時や夕食時にご自宅へ届けます。その時に安否確認やちょっとしたお手伝いを行う事も可能です。お出かけ同行サービスは通院など家族での対応が困難な場合に在宅老所の送迎車を利用してお手伝いします。

今井の旧施設の活用は、月に2回の「カフェ井戸端」を行っています。退職したスタッフや地域の方にボランティアで協力いただいています。お茶やおしゃべりを楽しんだり、ランチサービスもを行っています。ランチは今井あんきの家の食事と同じ物を提供していますので、施設でどんな食事を食べているか知りたい方は是非一度ご来所ください(ランチは要予約)。また、今年13日には旧施設を「里山マルシェ」へお貸ししました。キッチンカー、カフェ、ワークショップ、体験教室、ハンドメイドショップなど多くの出店があり大変盛況であったようです。

自主事業と介護保険事業を組み合わせることで更に便利なサービスを目指しています。

ウ、 各種会議の実施

(1) 総会・理事会

2021年度は、通常総会1回、定例理事会3回、新施設理事会視察1回、を開催しました。

第24回通常総会 出席者 53人(内委任状提出者 21人)

日時 2021年11月23日(火・祝) 13時30分～

場所 犬山市民交流センターフロイデ 2F 多目的室 1.2

第1回理事会 出席者 理事等 12人

日時 2021年11月12日(金) 13時30分～

場所 今井ふれあいセンター

議題 ①2021年7月～2021年9月利用者実績報告

②第 24 回通常総会準備

- ・会計報告の件
- ・今井あんきの家移転の件
- ・その他

新施設 理事会視察 出席者 理事等 8 人
日 時 2021 年 12 月 20 日(月)10 時～
場 所 今井あんきの家(犬山市塔野地 2 丁目 8)
内 容 新築移転先現場での説明会
立会/名稲建設(株) 一級建築士事務所小川屋

第 2 回理事会 出席者 理事等 8 人

日 時 2022 年 3 月 25 日(火)13 時 30 分～
場 所 今井ふれあいセンター
議 題 ①2021 年 12 月～2022 年 2 月利用者実績報告
②移転についての経過報告
③新施設内覧会について
④第 25 回通常総会準備

第 3 回理事会 出席者 理事等 9 人

日 時 2022 年 7 月 27 日(水)17 時～
場 所 今井あんきの家
課 題 ①2022 年 3 月～2022 年 6 月利用者実績報告
②移転報告
③2021 年度 第 25 回総会準備

(2) 運営会議

毎月第 3 金曜日午前中に定例化して開催しました。運営委員は代表理事と職員の代表 10 人で構成、月 1 回で年 12 回開催しました。

(3) 各事業所スタッフ会議兼内部研修等

新型コロナウイルス感染対策を厳守しながら、グループホーム、宅老所のスタッフ会議は 12 回開催しました。新施設に移転(2022.5)後、グループホームが 2 セクションになり、小規模も通いや訪問が中心となり業務内容も異なってきたため、グループホーム 2 棟と小規模は時間帯をず

らし、それぞれで会議を開催しました。スタッフ会議前には各管理者が集まり、議題の確認と会議進行の円滑化をはかるための話し合いをしています。

(4) 地域密着型運営推進会議

運営推進会議は、法律で 2 ヶ月に1回の開催が義務づけられています。グループホームでは第4回から第9回の6回、小規模多機能型居宅介護では第91回から第96回の6回、昨年に引き続き書面審議での開催となりました。

犬山市高齢者支援課、城東地区高齢者あんしん相談センター、城東区長及び今井区長、今井老人クラブ会長、城東中学校区の民生委員の皆様、利用者のご家族様に議案を送付させていただき、新施設でのご利用者の生活状態やスタッフの対応の現状、コロナ対策、事故報告の結果などについて報告いたしました。

また、身体拘束防止委員会としての役割も兼ねており、現状の報告をいたしました。

令和6年から新たに、年2回、虐待防止委員会の開催が義務付けられる事になりました。今井あんきの家では令和4年7月に第1回を開催し報告をいたしました。